

所属名	事業名	事業主体	事業費	助成額	主な事業内容
松江市			5,031,885	2,000,000	
	街を明るく！日吉親水公園ライトアップ大作戦	地域住民グループ（八雲ゆう人会）	655,394	310,000	コロナ禍で減っている松江市民の気持ちを明るくしていくことを目的として、松江市八雲町の日吉親水公園に、デザインの公募やライト制作ワークショップの開催、八雲中学校のボランティア募集などによりイルミネーションを設置した。
	美保関で遊ぼう！リーダー育成事業・研修会	地域住民グループ（美保関で遊ぼう！プロジェクトチーム）	431,913	430,000	地域の自然環境での体験プログラムの企画・実施する知識と技術を身につけるためネーチャーゲームリーダー養成講座を受講するとともに、ロープやワイヤーを使用したアクティビティ一体験や危険予知トレーニング等のリスクマネジメント研修を実施した。
	地域版まちづくり総合戦略事業	地域住民グループ（持田地域まちづくり総合戦略実行委員会）	363,678	260,000	松江市を訪れる観光客が延泊しても訪れたくなる地域となるような北山山系の魅力化を図るため、学生農業体験村（田植え、稻刈り）、ヒルクライム松江北山の開催、持田の歌「ふるさとで咲こう」DVDや戦国時代の石碑案内看板の作成などを実施した。
	「公益社団法人松江青年会議所創立65周年記念事業」2021JC Matsue presents Space in 島根町	公益社団法人松江青年会議所	3,011,577	500,000	都市部から来訪した体験モデルが地元企業や住民と交流しながら島根町での暮らしを体験する中で、外からの目線で人口減少に係る地域課題と解決策を見出してもらうため、旧野波小学校でアウトドアオフィス、ワーキング体験や焚火トーク、パネルディスカッションなどを実施した。
浜田市			2,765,545	2,000,000	
	社会教育・生涯学習を軸とした協働のまちづくり推進事業	地域住民グループ（浜田地域まちづくりセンター連絡会）	2,765,545	2,000,000	社会教育・生涯学習拠点であった公民館が令和3年度からまちづくりセンターに変わり、地区まちづくり推進委員や学校、地域の各団体と連携し、社会教育・生涯学習を基盤とした協働のまちづくり事業を実施した。 <主な事業内容> 小学生の職場体験（浜田まちづくりセンター） 親子での防災DAYキャンプ（石見まちづくりセンター） 親子馬島探検（長浜まちづくりセンター） 周布地区まちづくり委員会の設立（周布地区まちづくりセンター） 国道9号線、JR山陰線沿線の景観づくり（大麻まちづくりセンター） 地域の買い物支援（美川まちづくりセンター） まちづくり意見交換会（国府まちづくりセンター）
出雲市			2,017,025	1,326,000	
	空き家と人・地域とのご縁結びプロジェクト	NPO法人出雲市空き家相談センター	575,591	400,000	空き家問題を解決し地域を活性化するため、空き家に関する地域住民からの様々な相談に対応した相談会の開催と、空き家バンク登録支援、各地域の空き家の利活用を行う団体との関係づくりなどを実施した。
	耕作放棄地を緑の畑に！—よみがえる観光地の景観3—	地域住民グループ（耕作放棄地を考える会）	688,374	400,000	出雲大社に続く主要幹線道路周辺の耕作放棄地を農地として復活させるため、エゴマや大豆・小豆の栽培を行い、活動の成果を広報するための講演会や展示会を開催した。
	ひらたキッチン（雲州ひらたマルシェ）事業	NPO法人プレーパークてんとう虫	567,060	400,000	平田地域の観光の玄関口である雲州平田駅前の賑わいを取り戻すため、「柿」をテーマにしたマルシェ（市場）を初開催した。
	出雲の旅「新たな観光魅力」創出事業	NPO法人 いすも・ひとネット	186,000	126,000	出雲のイメージアップを図るため、神門通り商店街の店舗に投句箱（神の国いすも俳句ポスト）を設置し、出雲大社の参拝客に出雲観光の思い出をテーマにした俳句を投句してもらい、3ヶ月に一度、優秀作品を表彰してHPで発信した。
益田市			1,396,061	1,219,000	
	日本遺産認定記念スタンプラリー	地域住民グループ（まだ地域づくり協議会）	378,195	263,000	日本遺産の地域への浸透や多世代交流、地域の活性化を図るため、益田東中学校の協力により、日本遺産構成文化財地図を活用したスタンプラリーを実施した。
	おどいの宴（えん）	地域住民グループ（「おどいの宴」実行委員会）	399,866	338,000	「三宅御土居遺跡」及び「おどい広場」の来訪者を増やすため、飲食・物販、神楽等のステージイベントや歴史語りなどのイベント「おどいの宴」を開催した。
	きらりスポット・アピール事業	地域住民グループ（西益田まちづくりの会）	618,000	618,000	西益田地区の自然、名所、歴史遺産、よい活動場所等を”を洗い出し、きらりスポット”と命名して「きらりスポット地図（原図）」を作成し、パネル版やブックレット版、大看板を制作した。
大田市			1,926,871	1,457,000	
	重要文化財熊谷家住宅を拠点とした郷土食「箱ずし」の継承と発信	NPO法人 石見銀山資料館	297,723	257,000	熊谷家住宅を拠点として大田の食文化の保存と継承を図るため、箱ずしキットの試作品制作、動画作成と配信、親子体験ワークショップを実施した。
	三瓶そばでまちづくり～三瓶そばプロジェクト～	地域住民グループ（志学まちづくり協議会）	520,697	300,000	地域の特産品である「三瓶そば」を活用して地域産業の振興に繋げるため、三瓶そば勉強会の開催やイベント等での三瓶そばの提供を行った。
	地財・人財を生かした新生「くりの郷」プロジェクト	地域住民グループ（くりの郷 遊香夢）	333,274	300,000	放置された特産品のゆず畑の整備、栽培管理、収穫を行うとともにゆずを使った加工品の開発、機器整備、研修会等を女性中心で集まつたメンバーで実施した。
	定住対策/UIターン/観光リーフレット制作事業	地域住民グループ（馬路おこし会ふるさと振興部）	393,700	300,000	馬路地区の魅力と定住情報を発信して観光振興と定住促進を図るため、世界遺産「鞆ヶ浦」、日本遺産「琴ヶ浜の鳴り砂」など空撮映像が含まれる観光リーフレットを作成・配布した。
江津市	琴鳴御塩ル（ことなきをえる）事業化計画	地域住民グループ（馬路地区観光振興協議会）	381,477	300,000	国の天然記念物である琴ヶ浜から汲み取る海水を利用した藻塩づくりを事業化して雇用の創出を図るため、パッケージの制作等を作成し販売を開始した。
			1,965,449	900,000	
	江津JCサプライズ花火	一般社団法人江津青年会議所	1,349,980	300,000	江津市民や帰省している江津出身者に江の川祭の思い出を想起させ、元気を取り戻す機会とするため、事前告知を行わないサプライズ花火大会を開催した。
	江津本町まちづくり推進事業	地域住民グループ（本町地区歴史的建造物を活かしたまちづくり推進協議会）	301,412	300,000	地域の課題である空き家・空き店舗の増加による景観の悪化、活気の停滞を解決するため、地域住民やまちあるきイベント参加者も加わって江戸時代から続く空き家のリノベーションを実施した。
	有福温泉交流拠点整備事業～空き店舗の交流拠点化リノベーションによる交流事業～	地域住民グループ（山陰ギフト）	314,057	300,000	有福温泉と都市部の交流人口の創出を図るため、市内外の参加者を募集し、リノベーションする段階から実際に使用するまでをイベント化して、有福温泉の空き店舗のリノベーションを行った。

所 属 名	事 業 名	事業主体	事業費	助成額	主な事業内容
雲 南 市			984,150	800,000	
	聞こえの不自由な人にやさしいまちづくり事業	地域住民グループ (要約筆記サークル みとやだんだん)	213,002	200,000	聴覚障がい者の理解や支援を広げるため、携帯ホワイトボードの作成法と筆談のテクニックを周知できるDVDを作成し、市内の事業所等へ配布した。
	木次地区スローモビリティー実証運行事業	地域住民グループ (木次地区スローモビリティー導入協議会)	350,883	200,000	高齢者等の移動手段の確保と外出機会の増加による健康増進を図るため、ヤマハ発動機製スローモビリティの運行実証実験を行い、定期運行に向けた課題の分析を行った。
	空き家見学ツアーを通じた空き家の利活用と移住・定住の促進	地域住民グループ (木次エリア活性化推進協議会)	208,033	200,000	空き家活用の促進・拡大と定住人口の増加を図るため、空き家見学ツアーを開催し、参加者のアイディアや希望を反映したイメージ図や概算リフォーム費用を提示して入居者の発掘につながる活動を行った。
	日登共創プロジェクト	地域住民グループ (日登共創プロジェクト SUNラボ)	212,232	200,000	子どもと地域の住民の交流の機会を通じて子どもたちに地域を愛する心や多様性を受け入れる心を育むため、缶バッヂ製作などの親子活動や学びのプログラム、SNS発信などを行った。
奥 出 雲 町			1,569,823	1,464,000	
	日本オオサンショウウオの会奥出雲大会に向けたプレ大会開催事業	地域住民グループ (奥出雲オオサンショウウオの会)	262,168	262,000	令和4年度に奥出雲町で開催される日本オオサンショウウオの会全国大会の機運を高めるため、専門家の講演会、地元小学校の事例発表会、八代川のオオサンショウウオの調査・見学会をプレ大会として開催した。
	ゆうげ交流センター（旧JA店舗跡）の賑わい創出による地域活性化	地域住民グループ (ゆうげ交流センター)	478,799	413,000	自治会に有志の出資により取得、整備したJA店舗跡地の利活用を推進するため、ビザ窓を整備してビザイベントの開催や商品開発を行った。
	小さな駅（出雲八代駅）からの挑戦	地域住民グループ (出雲八代駅舎プラン)	302,213	289,000	多くの人に本次線への関心を持ってもらうため、出雲八代駅舎内に木次線ジオラマを作成するとともに駅舎駐車場で子どもたちの体験活動などを行った。
	Issyoni Tomoniプロジェクト2021 ～海を渡った仁王像！オランダと奥出雲をアートで結ぶプロジェクト～	地域住民グループ (仁王像プロジェクト横田)	526,643	500,000	オランダの伝統工芸「デルフトタイル」で再現した奥出雲からオランダに渡った仁王像を大市自治会内の会館に設置し、ワークショップ方式で公開した。
飯 南 町			2,053,766	2,000,000	
	神楽×高校生=まちのミライ事業	飯南町	1,004,200	1,000,000	飯南高校神楽同好会の活動を支援するため、神楽演舞に必要な小道具や衣装等を整備するとともに、神楽公演のリハーサル（公演はコロナのため中止）や神楽同好会による指導を行った。
	神楽を中心としたまちおこし事業	地域住民グループ (飯南神楽団)	542,840	500,000	飯南町の神楽文化を町内外にPRするため、移動車両のラッピングやパンフレットの作成、「神楽の学校」の開催、15周年記念講演会を実施した。
	賀田城ウォーキングコース活用事業	地域住民グループ (賀田城ウォーキングの会)	506,726	500,000	赤名瀬戸山城と赤穴氏との関わりある下島にある賀田城をウォーキングコースとして整備し、地域づくりに活用するため、賀田城周辺の草刈り、立ち木・枯れ木の除去、案内看板の整備、解説プレート、パンフレットの作成やウォーキング大会を実施した。
川 本 町			4,615,751	2,000,000	
	～地域を愛する若人の育成～島根中央高校魅力化推進事業	島根県立島根中央高等学校後援会	4,615,751	2,000,000	県立島根中央高等学校魅力化事業の一環として、多様な地域からの入学者を確保するため、講師やトレーナーなど外部指導者の招聘や遠征費助成などの部活動支援を行った。
美 郷 町			1,888,399	1,838,000	
	冊子「美郷の文化財」作成事業	美郷町	1,888,399	1,838,000	各地域にある未指定の文化財をまとめ、地域資源の掘り起こしと活用に向けた機運を高めるため、町内各個人や寺社等で保管している未指定の文化財を調査して冊子にまとめた。
邑 南 町			935,000	935,000	
	地域づくり福祉連携事業	邑南町	935,000	935,000	町内の養護学校や福祉施設などとの連携を強化するため、障がい者就労施設「はあもにいはうす」と道の駅瑞穂との連携検討会の開催や石見養護学校木工班の活動内容を紹介するリーフレットを作成した。
津 和 野 町			1,940,204	1,270,000	
	まちの新たな文化創出事業	地域住民団体（つわの蚤の市実行委員会）	317,704	270,000	「つわの蚤の市」の認知度拡大と収益安定化を図り持続可能なイベントを創出するため、チラシ、ポスターの制作やPR動画によるHP等での発信を行った。
	つわのミライフ事業	NPO法人ミライノタネ	1,622,500	1,000,000	地域の食材と自然環境に焦点をあてて津和野の魅力を外に伝えるため、アユの友釣り体験イベントや森の遊び場づくりキャンプ事業、HPによるPR動画等発信を行った。
吉 賀 町			762,332	731,000	
	書籍制作を通じた地域資源の再発見事業	吉賀町	96,332	65,000	公民館を拠点に協働のまちづくりを推進するため、公民館や地域住民を対象とした地域づくりミニ書籍作成のためのデータ分析と航空写真シート運搬ケースの整備を行った。
	地域づくりを支えるICTの活用と発信事業	吉賀町	666,000	666,000	公民館を拠点に地域住民全体で地域の課題等を共有するため、情報発信用ポータルサイトやグループウェア、バーチャル会議室等を運営し、地域課題解決のための仕組みづくりを行った。
海 士 町			2,314,396	2,000,000	
	～承前啓後～海士の歴史や営みから未来を切り開く協働プロジェクト	地域住民グループ (海士町協働プロジェクト実行委員会)	2,314,396	2,000,000	後鳥羽上皇配流800年を契機に、海士の「歴史・文化・営み・交流」に着目したまちづくりを進めるため、詩吟や自然環境調査を通じた歴史・文化・自然に親しむ活動、島民の営みを表現する写真撮影や島民劇の開催、島全体を巻き込んだ祭りや協働力フェスを実施した。
知 夫 村			1,575,500	1,569,000	
	ICTを活用した個別最適化事業	知夫村 (知夫村教育委員会)	1,575,500	1,569,000	少人数の強みとICTの利点を利用して子どもたちの学びの個別最適化による教育環境の充実と教育移住の促進を図るため、学びの個別最適化プログラムの作成やAI型教材教材の導入を行い学びの個別化最適化を推進するとともに、島外に向けてオンライン・オンラインで取組状況のPRイベントを実施した。
計			33,742,157	23,509,000	